

はくくみ
啓発10年

埼玉地区のあゆみ



QCサークル関東支部埼玉地区

表紙のことば

埼玉地区は啓発(はぐくみ)の言葉を大切にしています。そのイメージと10年間に大きく成長してきた年輪を図案化しました。

目次

10周年に寄せて

10周年を迎えるにあたって 埼玉地区支部長 石井 仁	2
10年を顧みて 埼玉地区世話人 能見 時助	3
地区活動の一層の充実を QCサークル本部長 鈴江 康平	4
10周年おめでとうございます QCサークル本部幹事 石川 馨	4
啓発の思想を活かしより一層の充実を 関東支部支部長 山田 明 浦	5
地区産業の発展と人材の活性化を 埼玉県経営者協会会長 長島 恭 助	5
10年のあゆみ	6
成長の記録	11
思い出	12
幹事活動アラカルト	16
あの人はいま	18
燃えるリーダーは語る（座談会）	20
地区活動のしくみ	24
賛助会員の輪	26
地区行事に参加して—賛助会員の声	28
明日に向けて—提言 地区相談役	30
明日に向けて—期待 歴代地区幹事長	32
資料編	
歴代役員一覧	34
歴代幹事一覧	36

10周年に寄せて



10周年を迎えるにあたって

QCサークル関東支部埼玉地区
地区支部長 石井 仁
富士ゼロックス株式会社
取締役岩槻事業所長

QCサークル埼玉地区は北関東地区より独立して10周年を迎えることになりました。

この間歴代の地区支部長、世話人、幹事長、幹事の方々のご努力により賛助会員会社数316社、本部登録サークル数8,151サークルと約4倍に発展して参りました。

参加される企業も製造部門中心の活動から事務・販売・サービス部門へと幅広く広がり益々各企業のQCサークルに対する関心の強さを示しております。このような広い分野にわたってのQCサークル活動をより活発化するために会員の方々のニーズに合った諸企画を立案実行することが大切であると感じています。またQCサークルの基本理念であります真に自主的な活動をより一層充実するためにも夫々の企業で苦勞された点を相互に研鑽し合う場も大切と思えます。

記念すべき10周年にあたり活動の歴史を記念誌「啓発10年—埼玉地区のあゆみ」にまとめ、発刊することにいたしました。

過去の諸先輩の活動を参考にされ夫々の企業のQCサークル活動をより活性化するための一助となればと思います。

今後共会員の皆様のご鞭撻・ご協力をお願いいたします。



10年を顧みて

QCサークル関東支部埼玉地区
世話人 能見時助
株式会社ブリヂストン
デミング・プラン推進部主査

QCサークル関東支部・埼玉地区は結成10周年を迎えました。結成後、年々地区のQCサークル活動が隆盛の一途を辿っておりますことは、まことにご同慶の至りであります。

回顧すれば、11年前に北関東地区を埼玉・群馬・栃木の3地区に分立する構想が提案されました。その時の推進主力が現在の埼玉地区の方々です。たとえばその年の北関東地区の幹事長が馬場幸夫氏、副幹事長が村上正也氏でした(その後いずれも埼玉地区の副世話人)。

その頃、私はQCサークル関東支部・支部長会社(兼京浜地区の支部長会社)の準代表者格でした。時あたかも第1次石油危機直後の一番厳しい時期のため、過去の慣例からしても、3地区の分立結成は時期尚早と考えていました。結果は皆様ご承知のとおり的发展ぶりで、私個人としては今でも内心忸怩たるものを感じている次第です。

それにつけても日頃の皆様方の絶大なご協力により、埼玉地区はQCサークル本部登録数・行事参加者数・賛助会員会社数ともに近年ウナギ登りの急上昇を示しています。全日本選抜QCサークル大会での金賞受賞も代表サークル会社の努力と全地区的な支援によって5回受賞の栄に輝きました。日本だけにしかない地区組織の維持・向上を願うや切なる次第であります。



地区活動の一層の充実を

QCサークル本部
本部長 鈴江康平
財団法人日本科学技術連盟 理事長

QCサークル関東支部埼玉地区が設立10周年を迎えられたことに対し、QCサークル本部長として感謝の念をこめて、心からお祝い申し上げます。

埼玉地区設立以来、献身的なご尽力をいただきました歴代支部長、幹事長、世話人、幹事の方々に深甚なる敬意を表する次第であります。常々私は、全国支部・地区の方々のこうした奉仕的なご尽力が日本のQCサークル活動の大きな支えであると考えております。

改めて厚く御礼申し上げます。

ご承知の通り、昨今QCサークル活動に対する内外の関心と評価は、一段と高くなっております。このような時期に10年という1つの節を迎えられましたことは、大変意義深いことでもあります。私は今後とも、地区の皆様と手を携えて地区活動の一層の充実、引いては日本のQCサークルが文字通り世界のQCサークルのリーダーシップを取り続けられるよう、努力したいと念願しております。

10周年おめでとうございます

QCサークル本部
幹事 石川 馨
武蔵工業大学学長



埼玉地区10周年おめでとうございます。

われわれがQCサークル活動をはじめたすでに23年、埼玉地区が発足してからすでに10年、早いものです。この間いろいろ曲折はありましたが、この人間性にあったQCサークル活動は順調に日本全土、各業種に普及・成長し、さらに世界50ヶ国以上に普及しました。しかし海外では日本ほど順調には進んでいないところが多いようです。

その1つの大きな要因は、日本にはQCサークル本部・支部・地区制ができていて、歴代の支部長・幹事長・世話人・幹事などの役員の皆さんが、QCサークル活動が大好きで、その研究と推進に熱心に奉仕して下さっているからです。そしてQCサークル活動の重要な要素である相互啓発と自主的活動などがうまく実施されているからです。もし支部・地区がなく、その役員の皆様の御努力・御協力がなかったらとてもこのようにうまく行かなかったと思っています。私も支部・地区ができて本当によかったと思っています。それよりもこれまでの役員の皆様の御努力に深く感謝いたします。

さてQCサークル活動は永続的に楽しく行う活動ですから、これから20周年におかってみんなで楽しくやっていきましょう。

どうも有難うございました。

啓発の思想を活かしより一層の発展を

QCサークル関東支部
支部長 山田明浦
㈱リコー 理事 品質管理本部長



QCサークル埼玉地区発足10周年おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

10周年を迎えられた背景には、歴代の地区支部長会社、幹事会社の皆様方のご努力と、協力体制の和が輪となって、今日の確固たる地区活動を築き上げてこられたものと思います。

その成果は、この10年間に本部登録QCサークル数が、発足当初に比べて3.5倍と伸び、しかも全日本選抜QCサークル大会において、埼玉地区代表が、昨年も含めて5回も金賞を獲得されるなど、まさに“啓発(はぐくみ)10年”、QCサークル活動の継続性と質的向上を、みごとに実現しておられます。

一段と厳しさを加える経済環境にあつて、QCサークルは、今後あらゆる産業分野で、変化の多様性に応えられる活動が期待されてくるものと思われまふ。

埼玉地区が、このような時代にふさわしい活動を創造され、啓発(はぐくみ)の思想を活かされて、より一層飛躍されんことをお祈り申し上げます。

地区産業の発展と人材の活性化を

(社)埼玉県経営者協会
会長 長島恭助



この度、QCサークル関東支部埼玉地区が発足して10周年を迎えられましたことは誠に喜ばしいことと、心からお祝い申し上げます。

その記念として、地区の成長のあゆみを顧み、今後の発展を展望するため記念誌を発行されますことは大変有意義なこととあります。

皆様方がQCサークル地区活動に本協会の多くの会員の賛同を得られ、QCサークル活動を一企業内の活動にととめず、相互交流・相互啓発をはかり、その普及拡大に努め、地域産業の発展に寄与しておられますことに対しまして、心から敬意を表する次第であります。

QCサークル活動の基本理念にあります「企業の体質改善・発展に寄与する。人間性を尊重して、生きがいのある明るい職場をつくる。人間の能力を発揮し、無限の可能性を引き出す。」などは、本協会の事業目的にも合致しこれが貴地区主催の諸行事について後援させていただいているゆえんでもあります。

QCサークル活動は近年各方面から注目され高い評価を得ておりますが、どうか埼玉地区におかれましても10年間の実績と伝統を生かし、今後とも会員の拡大と活動内容の充実を図り、地区産業の発展と人材の活性化にご尽力を賜りますよう念願し、お祝いの言葉といたします。

10年のあゆみ

		昭和51年度	昭和52年度
		基 礎 固 め	
埼玉地区の動き	<p>〈概要〉</p> <p>埼玉地区の発足は、新しい幹事・備品の不備不足、運営について知識不足の中で活動のスタートを切った。何事もまず実行、時々失敗、そして反省の連続で、幹事自からのサークル活動の実践であった。備品についても手造りで、汗をぬぐいながら大会看板を作成した懐かしい思い出もある。</p> <p>こうした初年度の活動は、今日の「ファミリー埼玉」の基礎を作り、幹事ガイドブック(大会編)を生み出したのである。</p> <p style="text-align: right;">支部長会社 東京芝浦電気㈱深谷工場</p> <p>〈特記事項・主な行事〉</p> <p>北関東地区より群馬、栃木、埼玉地区に分離独立 (昭和51年3月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発足大会 (3月8日 上尾) ・工場見学交流会 (6月10日 7社) ・リーダー研修会 (7月14日～16日 長瀬) ・呼びかけ大会 (10月7日 東松山) <p>全日大会を実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・躍進(表彰)大会 (12月9日 熊谷) <p>幹事ガイドブック完成(大会編)</p>	<p>〈概要〉</p> <p>初年度に築かれた基盤をもとに、各種行事の役割分担制の完全実施に踏み切った。他方各種行事運営の標準化を図るべく「工場見学交流会」及び「リーダー研修会」のマニュアルを完成した。</p> <p>表彰大会での“特別講演”の開始時間が10分過ぎても講師が見えず、参加者700余名を前に幹事一同右往左往し、漸く講師が来た時の嬉しかったことが忘れることの出来ない思い出である。</p> <p style="text-align: right;">支部長会社 富士電機製造㈱吹上工場</p> <p>〈特記事項・主な行事〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呼びかけ大会 (3月16日 岩槻) ・工場見学交流会 (5月19日 7社) <p>安全衛生大会を実施する (6月23日 深谷)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダー研修会 (7月13～15日 神川) ・躍進大会 (9月7日 所沢) ・工場見学交流会 (10月5日 7社) <p>表彰大会を独立する (11月22日 行田)</p> <p>“参加者700名を越す”</p> <p>「工場見学交流会」・「リーダー研修会」マニュアルの完成</p> <p>行事役割分担制の完全実施</p>	
	県内の動き・世相	<p>①総選挙でロッキード批判の県民審判下る (12月)</p> <p>②畑知事、無投票で再選(6月)</p> <p>〈世相〉・ロッキード疑獄、構造不況</p> <p>〈流行語〉・記憶にございません</p> <p>〈歌〉・およげたいやきくん</p>	<p>①県人口、500万人を超えて、全国第6位となる (1月)</p> <p>②全国高校サッカーで浦和南高輝くV2 (1月)</p> <p>〈世相〉・革新冬の時代、増税</p> <p>〈流行語〉・ルーツ、たたりじゃあ</p> <p>〈歌〉・ペッパー警部、UFO</p>

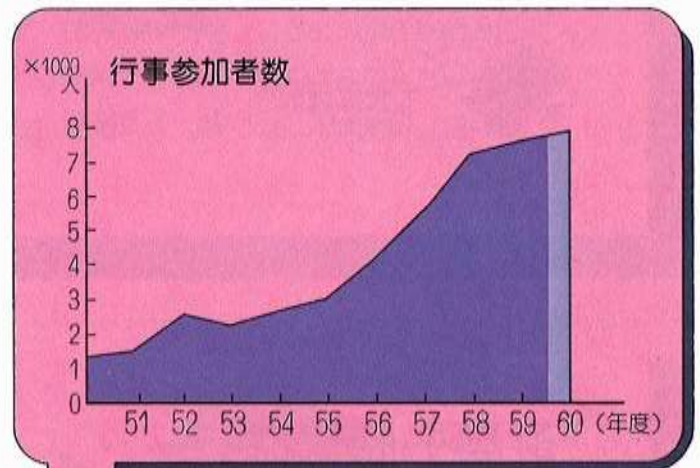
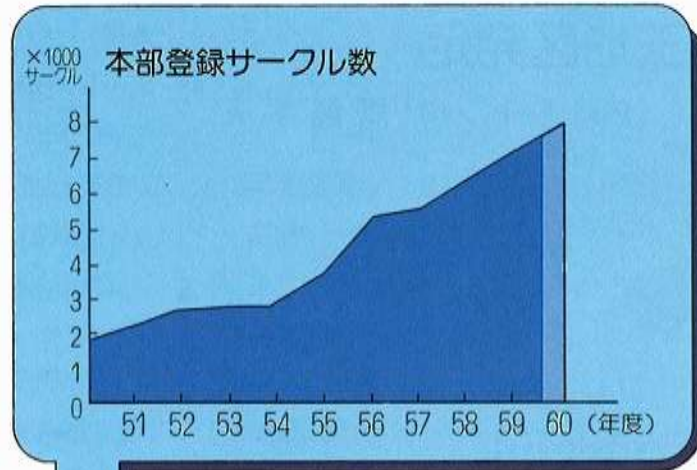
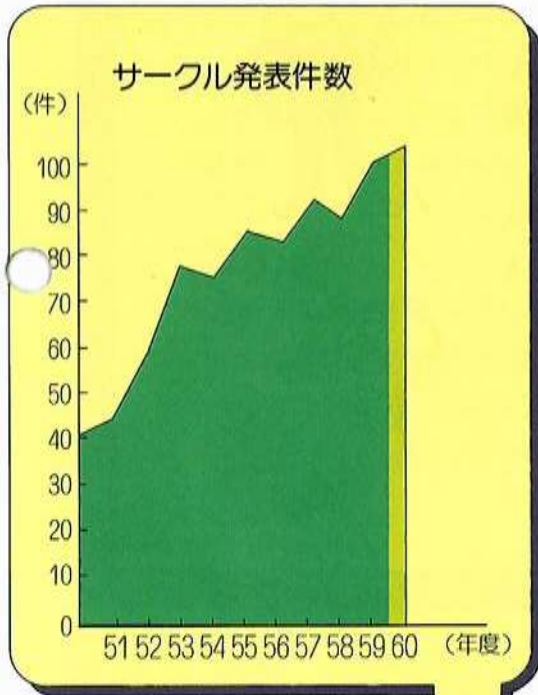
		昭和53年度	昭和54年度
		基 礎 固 め	
埼玉地区の動き	<p>〈概要〉</p> <p>地区発足以来確立されてきた基盤の上で、行事企画に新しい試みを加えた年であった。</p> <p>「安全衛生大会」を安全週間の一環として、ゼロ災を願うサークルメンバーのノウ・ハウ収集の場として提供、「部課長研修会」を三地区合同としてスタート、「選抜予選会」の実施などである。未だ各社共、選抜レベルのサークルが少なかった時期だったが、足がかりは出来た。</p> <p style="text-align: center;">支部長会社 スカイアルミニウム(株)深谷工場</p> <p>〈特記事項・主な行事〉</p> <p>発展大会を実施する (3月16日 上尾)</p> <p>・リーダー研修会 (5月17～19日 神川)</p> <p>選抜予選会を計画外で実施する(5月24日 深谷)</p> <p>・安全衛生大会 (7月11日 熊谷)</p> <p>本部登録サークル数3000を越す(7月)</p> <p>工場見学交流大会として発表を増す (9月12日、14日 11社)</p> <p>研修会の要望が多いため、リーダー研修会を計画外で実施する (10月18～20日 神川)</p> <p>・表彰大会 (11月13日 川越)</p> <p>群馬、栃木、埼玉の三地区合同による部課長研修会を実施する (11月24、25日 水上)</p>	<p>〈概要〉</p> <p>地区発足4年目を迎えて、幹事会社各位の支援と努力により、新しい行事企画が実施された。「地区選抜大会」を初めて開催したこと、7月大会のメイン会場を女性サークル発表会場とし、運営も女性幹事の皆さんで初めて開催出来たことが挙げられる。</p> <p>選抜大会での代表サークル「りんどうサークル」が関東支部代表ともなり、全国選抜大会で埼玉地区として初めて本部長(金賞)を受賞、ファミリー埼玉の名声を高めた。</p> <p style="text-align: center;">支部長会社 雪印食品(株)春日部工場</p> <p>〈特記事項・主な行事〉</p> <p>三二大会を実施する (3月6日 行田、3月20日 岩槻)</p> <p>地区選抜大会を実施する(5月24日 入間)</p> <p>・上尾大会 (7月20日 上尾)</p> <p>・リーダー研修会 (9月26～28日 神川)</p> <p>・工場見学交流会 (10月12日 10社)</p> <p>・部課長研修会 (11月22、23日 水上)</p> <p>・表彰大会 (12月6日 東松山)</p> <p>りんどうサークル(ぺんてる)金賞受賞する</p>	
	県内の動き・世相	<p>①稲荷山古墳出土の鉄剣から115文字の金石文 (9月)</p> <p>②新しい県議定数が94人に決まる(12月)</p> <p>③狭山市の住宅地に自衛隊機墜落(9月)</p> <p>〈世相〉・円高不況、サラ金地獄 〈流行語〉・未知との遭遇、野性の証明 〈歌〉・青葉城恋歌、君の瞳は1万ボルト</p>	<p>①新幹線建設計画で県南三市議会が条件付き受入へ(12月)</p> <p>②統一地方選、総選挙で県内政界地図に大きな変化(4月、10月)</p> <p>③深谷市で小判騒ぎ、法廷で所有権争い(2月)</p> <p>〈世相〉・公黄天国、赤ヘル旋風 〈流行語〉・ウサギ小屋、省エネ 〈歌〉・関白宣言、魅せられて</p>

		昭和55年度	昭和56年度
		基礎固め	躍進期
埼玉地区の動き	<p>〈概要〉 賛助会員のニーズを大会アンケートより分析した結果に基づき、近隣の会場で作業着のまま気軽に発表・参加出来る場として、初めて3会場でブロック大会を開催した。大会役員も賛助会員会社の協力を得て、企画段階から運営まで参加していただいた。この大会にフィンランドの方々も聴講に参加された。</p> <p>地区創立5周年にあたり、年度最後の表彰大会に記念式典を行い、祝った。</p> <p style="text-align: center;">支部長会社 新電元工業㈱飯能工場</p> <p>〈特記事項・主な行事〉 地区を3つのブロックに区分し、ブロック大会を実施する（3月11日 吹上、川越、上尾）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区選抜大会（5月29日 坂戸） ・熊谷大会（7月18日 熊谷） ・リーダー研修会（9月24～26日 秩父） ・工場見学交流会（10月14日 10社） ・部課長研修会（11月21、22日 水上） ・地区表彰大会（12月4日 浦和） <p>本部登録サークル4000を越す(12月) 5周年記念誌「あゆみ」発刊(12月) 雑草サークル(小林コーサー)金賞受賞する 地区行事の円滑化・効率化のため、4委員会を整理統合、企画運営・審査表彰の2委員会とする</p>	<p>〈概要〉 『気軽で、普段着の交流』・『本音で語り合うサークル交流』・『安い参加費』を活動の目標におき、「啓発(はくくみ)発表会」・『工場交流会』の新企画を実施した。</p> <p>幹事自身の資質向上をねらいとし、他地区の行事へ幹事を派遣、長野地区幹事との交流研修会を進めた。</p> <p>『ファミリー埼玉』を合言葉に各幹事の力が結集されたことが特筆される。</p> <p style="text-align: center;">支部長会社 日産ディーゼル工業㈱上尾工場</p> <p>〈特記事項・主な行事〉 新しい発表会を増やすため、サークル体験発表の場を積極的に提供、啓発発表会として実施する（3月12日、18日、19日、24日 深谷、東松山、上尾、草加）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区選抜大会（5月20日 坂戸） ・サークル工場交流会（6月10～19日 10社） <p>優秀サークル発表の場として各ブロックごとにQCサークル大会を実施する（7月6日、8日、14日 大宮、熊谷、東松山）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダー研修会（9月24～26日 神川） ・サークル工場交流会（10月13～23日 12社） ・部課長研修会（11月20～21日 水上） ・地区表彰大会（12月10日 熊谷） <p>PBXサークル(小林コーサー)金賞受賞する</p>	
	県内の動き・世相	<p>①富士見産婦人科病院事件(9月～12月) ②新幹線の太宮暫定始発が決まる(12月) ③史上初のトリプル選挙が行われ、畑知事3選される(6月)</p> <p>〈世相〉・マンザイブーム、校内暴力多発 〈流行語〉・竹の子族、赤信号皆でわたれば怖くない 〈歌〉・奥飛驒慕情、雨の慕情</p>	<p>①浦和駅西口改造事業完成(4月) ②新幹線の開業時期決定</p> <p>〈世相〉・行政改革、保険金殺人続発 〈流行語〉・よい子悪い子普通の子、おじん 〈歌〉・ルビーの指輪、みちのく1人旅</p>

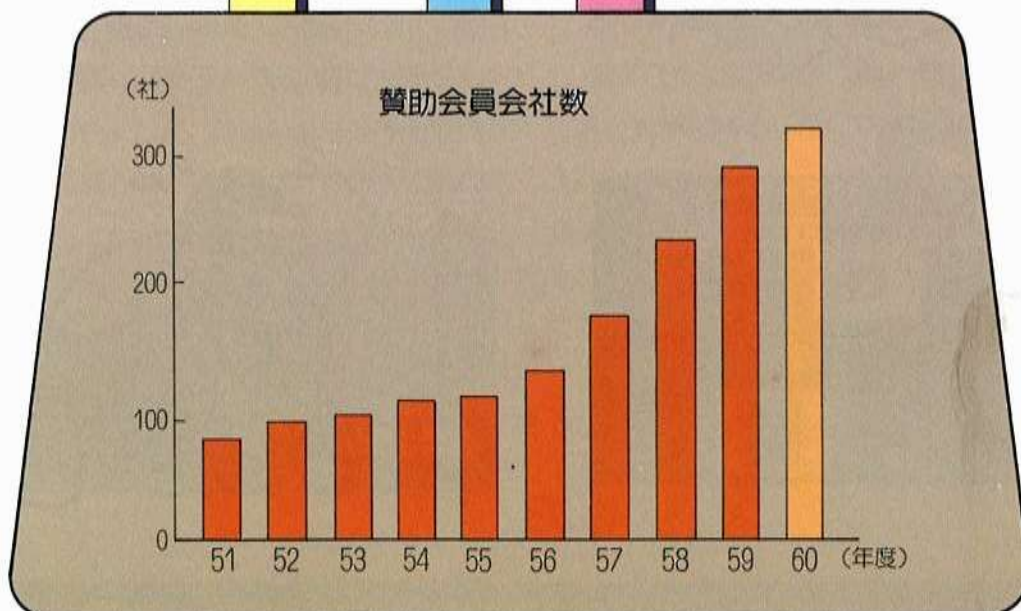
		昭和57年度	昭和58年度
		躍 進 期	
埼 玉 地 区 の 動 き	<p>〈概要〉</p> <p>各行事は定員を大巾に超える参加を得て盛況であり、特に交流会・研修会は参加希望が多く、お断りをするほどであった。</p> <p>これらの結果地区年度目標—大会参加者数・体験談発表件数・QCサークル本部登録数・賛助会員数はいずれも目標値を達成することが出来た。</p> <p>地区規定・審査表彰規定の制定、年度活動報告書・活動計画書の充実をはかり、冊子化したことが特筆される。</p> <p style="text-align: center;">支部長会社 小松インターナショナル製造(株)</p> <p>〈特記事項・主な行事〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発発表会（3月15日、18日、19日、25日 上尾、東松山、草加、春日部） ・地区選抜大会（5月19日 坂戸） ・工場交流会（6月8～16日 12社） ・QCサークル大会（7月7日、8日、13日、20日 大宮、熊谷、川越、春日部） ・リーダー研修会（9月16～18日 神川） ・工場交流会（10月5～27日 11社） ・部課長研修会（11月19～20日 水上） <p>全日大会で参加者が1000名を越す</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表彰大会（12月10日 大宮） ・幹部研修会（1月27日 大宮） <p>カインドサークル(小林コーセー)が金賞受賞する</p> <p>地区規程、審査表彰規程を制定する</p> <p>「石川 馨」記念旗を拝受</p>	<p>〈概要〉</p> <p>地区発足10年を2年後に控え、組織・財政・企画の各面から強く意識した年であった。</p> <p>推進事務局研修会の充実、啓発大会の一会場を間接部門大会とするなど賛助会員のニーズに応えた。</p> <p>また大会10会場中6会場を浦和・大宮で開催し、参加者の大巾増加につながった。</p> <p>これらの結果地区目標項目は何れも目標値を達成し、重点課題であった「地区財政の確立」も達成出来た。</p> <p style="text-align: center;">支部長会社 (株)小林コーセー狭山事業所</p> <p>〈特記事項・主な行事〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発発表会（3月11日、15日、17日、23日 東松山、浦和、熊谷、大宮） <p>推進事務局研修会を新設し、研修体系を確立した</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推進事務局研修会（4月21～22日 皆野） ・地区選抜大会（5月17日 浦和） ・工場交流会（6月13～23日 12社） ・QCサークル大会（7月4日、8日、12日、19日 浦和、深谷、狭山、大宮） ・リーダー研修会（9月20～22日 神川） ・工場交流会（10月11～25日 15社） ・部課長研修会（11月18～19日 鬼怒川） ・表彰大会（12月2日 大宮） <p>幹部研修会を経営幹部交流会と改名し実施した</p> <p style="text-align: right;">（1月19日 大宮）</p>	
	県内の動き・世相	<p>①東北、上越新幹線が開業(6月、11月)</p> <p>②三郷中央病院事件で院長逮捕(11月)</p> <p>③県立近代美術館オープン(11月)</p> <p>〈世相〉・ホテルニュージャパン火災、日航機羽田沖墜落</p> <p>〈流行語〉・男の気持ちです</p> <p>〈歌〉・北酒場</p>	<p>①統一地方選、参院選、衆院選の三大選挙実施(4、6、12月)</p> <p>②新交通システム「ニューシャトル」開業(12月)</p> <p>③西武ライオンズ2年連続日本一(11月)</p> <p>〈世相〉・レーガン米大統領初来日、大韓航空機事件</p> <p>〈流行語〉・いかにも一般大衆の</p> <p>〈歌〉・さざんかの宿、矢切の渡し</p>

		昭和59年度	昭和60年度
		躍 進 期	
埼 玉 地 区 の 動 き	<p>〈概要〉</p> <p>躍進期の4年目を迎え、QCサークルの輪の広がりから年間参加動員数8100名を超える盛況であった。</p> <p>研修会は年初に本部行事「QCサークル活動の始め方」研修会を初めて地区内で開催し好評を得た。委員会活動・ブロック活動も積極的に活動し、地区活動を盛り上げた。</p> <p>これら諸行事の盛況に支えられて地区年度方針の3目標はすべて達成された。</p> <p style="text-align: center;">支部長会社 萱場工業㈱浦和工場</p> <p>〈特記事項・主な行事〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発発表会（3月13日、16日、22日、27日 東松山、浦和、熊谷、大宮） ・推進者研修会（4月13～14日 皆野） ・地区選抜大会（5月18日 大宮） ・工場交流会（6月11～22日 12社） ・QCサークル大会（7月4日、11日、19日、26日 深谷、坂戸、浦和、大宮） ・リーダー研修会（9月19～21日 神川） ・工場交流会（10月8～19日 15社） ・部課長研修会（11月16～17日 水上） ・表彰大会（12月4日 大宮） ・経営幹部交流会（1月17日 大宮） <p>てんとう虫サークル（小林コーサー）が金賞受賞する</p> <p>関東支部20周年を記念し、ジュラン旗を贈られる</p>	<p>〈概要〉</p> <p>地区発足10年の節目を迎え、地区活動・ブロック活動・各委員会活動を通じ、諸課題推進のための施策を展開中である。</p> <p>QCサークル大会（7月）間接会場の全日化、女性大会の独立実施により賛助会員の旺盛なニーズに応える・各ブロックの特徴を活かした交流の場を広げる等である。</p> <p>企画運営委員会・審査表彰委員会活動を通じ幹事のレベルアップと地区運営の効率化、標準化を推進している。</p> <p style="text-align: center;">支部長会社 富士ゼロックス㈱岩槻事業所</p> <p>〈特記事項・主な行事〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・啓発発表会（3月5日、14日、27日 大宮、東松山、熊谷） ・推進者研修会（4月17～18日 皆野） ・地区選抜大会（5月15日 浦和） ・工場交流会（6月11～25日 15社） <p>QCサークル大会間接会場（7月 大宮）の全日化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QCサークル大会（7月9日、12日、19日、24日 坂戸、浦和、大宮、熊谷） ・リーダー研修会（9月18～19日 神川） <p>女性大会の独立実施（9月24日 浦和）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロック内交流会（10月11日、15日、18日、23日、25日 6会場） <p>10周年記念表彰大会（12月3日 浦和）</p> <p>記念誌「啓発10年—埼玉地区のあゆみ」発刊</p>	
	県内の動き・世相	<p>①知事選で畑和氏4選される（7月）</p> <p>②狭山市の牧野太平さん、米スタンフォード大で心臓移植手術に成功（5月）</p> <p>〈世相〉・かい人21面相、ロスオリンピックにソ連圏ボイコット</p> <p>〈流行語〉・イッキ・イッキ</p>	<p>①埼玉中枢都市圏構想動き出す</p> <p>②埼京線開業・川越線電化（9月）</p> <p>〈世相〉・つくば科学博ひらく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日航ジャンボ機墜落 ・いじめ ・不凍液入りワイン

成長の記録



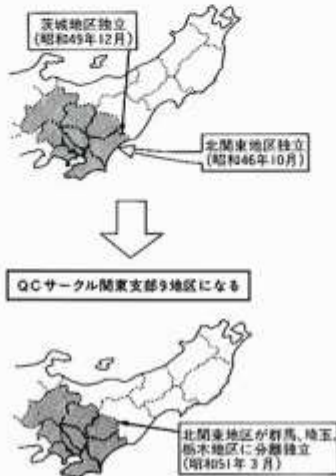
昭和60年度は目標値



思い出

埼玉地区発足

日電サービス(株) 馬場幸夫



昭和46年、埼玉・群馬・栃木の3県で、北関東地区が発足した。地区支部長は、東京三洋電機(群馬-2年)・富士重工(群馬)・三菱電機

(群馬)・大日本電線(埼玉)が担当した。

昭和50年に至り県単位地区独立の機運が熟し、1年間の準備を経て、埼玉地区が誕生した。

この北関東地区の5年間は基礎時代と云ってもよく、行事・運営の基本を確立した。即ち(1)賛助会員制導入(2)総会の実施(3)三二大会の開催(4)地区表彰大会・選抜大会の開催(5)QCマニュアル作成等を他地区に先駆けて行った。



“幹事も時には 看板屋さん”

株東芝 佐藤直明

51年の夏も暑かった。暖房の効いたF電気
の体育館の中、なれない手つきの幹事さんが



滝の汗を流しながらの看板書き。材料は、各社の持寄りで、汗は自己負担。やっと出来た「第588回QCサークル埼玉地区躍進大会」の8Mの大看板を見て、幹事一同思わずうっとり。こうした苦勞のかいあって、この大看板は大会会場のライトで、キラリと当時の汗を光らせながら、5年間も活躍したとか。看板屋さんご苦勞さま。



先生早く来て!

㈱リケン 大井 浩一

埼玉地区の幹事を務めた中で頭に浮かぶのは、52年度の表彰大会(行田)です。年間のメイン大会のため参加者も最高に、内容も最高を目標にし、目玉を特別講演におきQCの大家である「西堀米三郎先生」をお招きすることになりました。



当日は遠く山形県からの仲間も含め700名余(今までの最高)

の参加者のもと、発表も順調に進み講演の時間が近づいたのに、西堀先生が見えず役員一同真青! 進行係にできるだけ間を持つようお願いし、先生の自宅へ電話すると「定刻通り出ております、もう着く頃です」とのこと。役員総出で「先生早くこいこい」とハラハラしながら待つこと30分余、やっと先生の姿が見え一同ホット胸をなでおろしました。

(後で聞いた話、こちらの案内図通りに来たが途中道路工事で通れず迂回したら「田舎道」に迷ってしまった。—先生の証言—)



研修前夜台風の接近!

新電元工業㈱ 矢野 正寿

昭和55年埼玉地区の幹事対象の行事として実務者研修会が9/12~9/13の両日赤城天望荘で行なわれました。開催前々日から台風が関東地方に接近する可能性が大きいとの気象情



報から、研修会を延期するかどうか前日まで悩み結論的には、決行す

ることになりました。当日は好天気にも恵まれて、赤城大沼湖の素晴らしい景色が昨日のように思い出されます。本当に天候に感謝をしたい気持ちでした。研修会も参加予定者の欠席もなく、1泊2日の幹事同志の意義ある交流会ができました。



「活動報告書・計画書」 誕生記

小松メツフ(株) 近藤 敏郎

皆さん御存知の如く毎年期初に「活動報告書(00年度)と活動計画書(00年度)」と称する小冊子が正副支部長会社より発行される。

勿論関東支部の他地区も同様なものを発行している。しかし当地区が毎年発行しているものは他地区のものに較らべ決して見劣りしない、むしろ上の部類に属すると自負している。

ところが、この冊子誕生の経緯はあまり褒められたものではない。S57年3月、関東支部第1回幹事会の席上、各地区より立派な報告書と計画書

が提出された。当地区のものはA4版4枚の概要報告で、これは地区創立以来標準化されたスタイルで幹事マニュアルに綴じ込むように考えられている。

幹事会終了後茨城地区の〇幹事長より「埼玉地区も近年非常に充実してきたが、活動報告がいかにもお粗末ですな、報告書も充実すべきですよ。」と言われてしまった。少々頭にきたが事実は〇氏の言う通りである。しかし余計なお世話とばかり聞き流していた。

幹事長の任期もだんだん終りに近づくにつれ活動報告書のことを気になりだし〇氏の言葉が頭から離れなかった。そして年末、再び〇氏より同じ事を言われてしまった。

「うん考えてるよ。」とは言ったものの、2月末迄の短期間にまとめ上げる自信は全く無い、しかし臍にさわる。考えた末「今に見てろ、立派なヤツを作ってみせるぞ」と決心した。過去のデータを集め、正月休み、業後を使って、いざ原稿を書き始めると、各行事毎にキチンとまとまっている苦のデータや反省事項の中にあまりハッキリしない点が多く出てきた。その時の行事委員長に聞いても忘れてしまったことが多く、思わぬ工数を費やしてしまった。

苦勞してヤツまとめ上げ、「やって良かったな」と感じると共に、その切掛けとなった茨城地区の〇幹事長に感謝の気持ちが湧いてきた。彼がどんな積りで酷評したのか真意は解らないが、彼は元埼玉地区の幹事をしており転勤によって茨城地区幹事長を務めているのでおそらく本当に埼玉地区のことを考えてくれていたものと思う。有難い事だ。

彼に云われなければおそらく出来なかったであろう。こうしてまとめてみると、意外にも抜けている点や反省点がたくさん出て来たし問題点もはつきりとしてきた。

はずかしながら「まとめ」の大切さを痛感した次第である。

サークル活動も、結果のまとめは体験談発表の目的だけでなく、系統的にその都度キチンとすることにより更に多くの反省点、問題点を生み出すものと思う。

以上埼玉地区の自画自賛だが、某氏曰く「こんなものを作るから以後の支部長会社は元のレベルに落すわけにもゆかず負荷が増えて迷惑している、君が一番悪い」だそうだ。御尤も、申訳ありません。



特別企画には、 「裏番組」の用意も!

(株)アルピオン

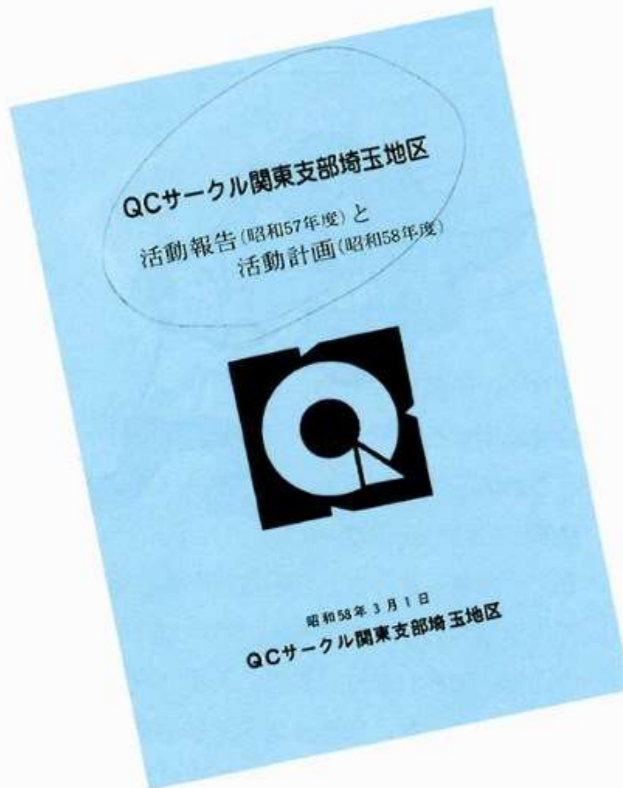
伊東 義弘

58年の女性大会はある教訓を残してくれた。それは特別企画の講師として決定していたK社のK女史が急病で入院し出



られなくなった。という連絡が大会前夜の10時半頃に女史の上司であったT部長より入ったことから始まった。時が時だけにそれから幹事長~小生~T部長の三角関係による電話連絡で、同一テーマのジャンルで話のできるY女史にピンチヒッターをお願いして事なきを得たが、それができたのもその日のことはその日のうちにと真夜中にもかかわらず連絡をとって頂いたT部長のお陰である。

ちなみにY女史は翌朝6時の早立ちで出張することになっていたのである。



幹事活動 アラカルト

10年間の幹事延人数も539名にのぼり、行事数も年々増えて来ました。
日頃の幹事の活動を写真で綴ってみました。



幹事会 5回/年



幹事研修会 3回/年



実務担当研修会 1回/年



ブロック長会議 2回/年
各ブロック長がブロック間の活動調整及び情報交換を楽しい雰囲気で行なっています。今年の基本はこのように考えていますのでぜひ協力を！



企画運営委員会 5回/年
何をそんなに神妙に考えているんだい/OOさん。来年度は大会行事委員長を担当することになったんだよ。初めてなので、心配なんだ！大丈夫ですよ、みんなが協力するから。……そうかなー。

ブロック幹事会 5~6回/年



世話人会 3回/年



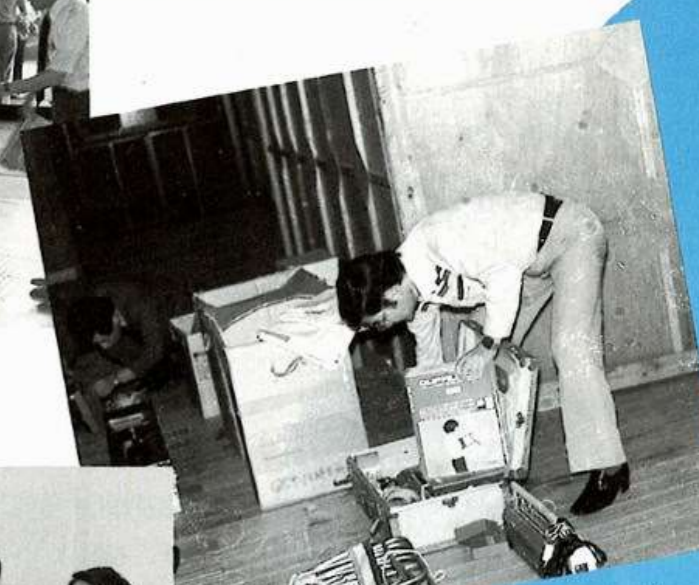
審査表彰委員会 5回/年
オイオイOO幹事もっと具体的な意見を出さないと審査がおずかしいよ！もっとこうの方が良いのでは！一意見仲で予定時間を過ぎることがしばしばー



大会風景



QCサークル大会受付 5~6回/年
当社は大会の参加希望が多く、やっと順番が回ってきて、参加ができました。本当に嬉しいです！ どうもごころうさまです。



大会備品の確認
ベルはどこに入っているかなあー(新人幹事)
No1のトランクになかった？(ベテラン幹事)
ありました。一生懸命探してしまっただ！
あー腰が疲れた！

大会等の行事委員会 5~6回/1行事
黒板に書かれた行事の企画内容を真剣な顔で討議(行事当日の3カ月~4カ月前にスタート)
賛助会員のニーズは/大会規模は/予算計画は/

あの人はいま!

QCサークルと共に歩んだ10年

(現在、青森・岩手地区幹事長) 雪印食品(株) 高橋幸治氏



昭和51年の埼玉地区発足大会の発表者として、埼玉地区に初登場、たまたま、大会賞を受けたことを機に、その後10年間のQCサークルとの付き合いが続いております(表彰大会での発表の際、舞台の上で相撲をとったふざけ過ぎの罰かも知れない)。

昭和53年には、埼玉地区副幹事長会社として、地区事務局の仕事を行ない、埼玉県内各地を動き回りました。翌年は、幹事長会社であり、年間計画を立て“いざ”と言う段に成って、突然の「花巻工場への転勤」です。

“助かった”と思いきや、移ったとたんに、青森岩手地区の幹事となり、再

びQCサークルとの付き合いが始まりました。

その後、数年のブランクがありましたが、昭和60年度青森、岩手地区幹事長としてまたもや登場。QCサークルとの因縁の深さをつくづく感じております。

東北支部は、行動範囲が広く、また、支部全体でも41社という少ない幹事会の中で一生懸命の活動が続いております。

残り少ない、地区幹事長の任期ですが、多くを学んだ埼玉地区時代の経験を生かし、一生懸命頑張りたいと思います。



発足大会(上尾)で発表された高橋さん

毎日を明るく主婦業専念

元 新電元工業(株) 大川節子氏



私は、昭和51年3月上尾市民会館で開かれた埼玉地区発足大会にて「ウエハー加工における割れ不良の低減」を発表しました。

おとなしいだけが取り柄で、いつも人の後に隠れていた私が突然の外部発表ですから、誠に青天の霹靂で信じられない出来ごとでした。足は地に着かず、心臓は「ドキンドキン」という音が、今でも聞こえる様です。

その後私は、品質管理部に席を移し、QCサークル事務局の仕事を始めましたが昭和54年。いやでいやでたまらなかつたサークル活動の全社的推進が、本業になってしまいました。多くの人に接し、多くの事を学び、埼玉地区の行事

も少しお手つだいをして、私も少しですが変わったようです。中でも「女性大会」での運営は、大変良い思い出となりました。現在は一児の母として主婦業に専念しておりますが、近所の方々や、同じ位の子供さんのいるお田様方とも親しくお友達になり、明るい毎日を送っております。QCサークルを離れ、家庭に入っても、人との接し方は同じです。10年前の発表が私に自信を与え、この自信によって私を変えてくれたことを感謝致します。

研いた腕でスタッフとして…

富士電機㈱ 小島久雄氏(右)
南喜重郎氏(左)



昭和53年、関東支部選抜大会に向けて地区世話人をはじめ工場幹部の熱心な指導と職場の援助を受け、総力を上げて大会にのぞんだが、力及ばず涙をのんで早くも7年が過ぎた。

発表の理想を求めると現実の活動内容から離れてしまうことに悩むなど、この大会への挑戦で自分の未熟さとサークルの勉強不足を知らされた。また「お涙頂戴的ストーリー」が多い中で「サークル活動に泣かせはならない」と提言して来た生意気な若いサークルでもあった。

しかし、この挑戦が、不滅の財産として、人生の貴重な一頁になっていることは事実である。私達二人はこの間、前後して二年間、西ドイツで研修する機会を得、帰国後も金型製作技術の向上に努力して来ました。そして現在、金型工場の事務所に席をおき、個有技術の追求、総合合理化の検討など、サークルを離れ、職場のスタッフとして頑張っておりますが、サークルのモットーであった「人間関係は仕事で作れ！」「サークル活動は知恵を出す集団である」という信念は今も生きています。

若いメンバーと共に再度チャレンジ

べんてる㈱ 島根とし氏



昭和46年から取り組んだQCサークル活動でしたが、私自身は、会合や発表が死ぬ程つらくてたまりません。いつも任せきりだった私が、前リーダーの突然の退職で、リーダーに選ばれてしまいました。さあ大変、それから、FQC誌や資料を取り寄せ、一生懸命の勉強が始まりました。

そして、昭和52年の埼玉地区大会に出場。足はガクガク、入れ歯はガタガタの発表であつたりんどうサークルに大会賞が与えられました。

この栄誉が自信となり、昭和54年の選抜大会に挑戦し、埼玉地区代表とし

て始めて全日本選抜大会「金賞」に輝いたので。

この時程、全員の気持が一つになり活動したことはありません。発表練習や資料作りで夜遅く帰ることもたびたびです。また、家族の理解がなくては実現できなかったともつくづく思います。

現在は、メンバーも変わりましたが、あの時の気持を忘れずに、若いメンバーを引張って、活動を推進しております。私は、金賞受賞の感動を一生忘れる事ができない財産として、大切にしております。そして、サークルメンバーと共に新しい挑戦に頑張っております。



昭和52年躍進大会の表彰式風景

燃えるリーダーは語る



座談会

出席者

梶田 敏夫 小松メック(株) 58年地区選抜大会賞
桑原美恵子 (株)小林コーセー 57年全日本選抜金賞
長島 操 富士ゼロックス(株) 60年地区選抜大会賞

藤野 欣子 (株)小林コーセー 59年全日本選抜金賞
丸山 良雄 富士電機(株) 60年地区選抜大会賞
司会 長谷川 功 東洋製罐(株)

出合いはみな同じ

—— 感受性が方向を決める ——

司会 今日、優秀なサークル・リーダーにお集り願って、日頃の実践で得た『宝もの』をご披露いただくと思っっているわけです。

QCサークル大会等で、みなさんのご苦勞を伺うことはできるんですが、15分間のストーリー紹介ですから仲々裏側を聞くまではいきません。

今日は、多くのサークルに勇気を与えてもらうために、できるだけ大会で触れていないお話しを出していただければありがたいと思っています。

まず、とっかかりとして、サークルとの出合いの頃どんな受けとめ方だったかを聞かせて下さい。

丸山 富士電機・吹上工場の小集団活動はZD、QRを含めて20年ほどになるんですが、私が強い印象をもったのは、10年前の群馬の太田大会でしたね。

私たちの活動は「不良をなくす」と言った改善中心のものでしたが、よそでは「人の働きや人間性」を大事に活動している。これに感動したのを覚えています。

梶田 15年程前になるんですが、小松インター（現在

は小松メック)の大会で発表させられたんです。

入社間もないし、QCが何かもわからない。上司が作ったストーリーを丸暗記して、発表だけの役でした。

あまりほめられた出合いではありません。

司会 それが見事に花開いた!

梶田 そうでもない「仲々進まず」ですよ(笑い)

桑原 小林コーセーも以前はZDをやっていました。

事務部門の私たちは無関心だったし、現場の人たちが自分のやった改善を、絵を見るごとく面白おかしく説明しているのを感じて聞いている程度でした。

QCサークル活動は53年からで、このときから事務部門もスタートしたわけです。

長島 一般的には事務部門の方が難しいと思うんですが、うまく活動できたんですか。

桑原 たまたま私が年長者だったんでリーダーが回ってきた。リーダーと言っても何もわからないものだから、いちいち推進者に聞きながら進めると言う具合で、少しずつ成長できたと思うんです。

強い印象を受けたのは、54年選抜大会のべんてるのりんどうサークルの発表でした。オバサンたちが本気で働いている。生きがいを見い出している姿は感動的

で、あの刺激で熱が入ったと思います。

長島 富士ゼロックスの前身の岩槻光機の頃から数えると活動は15年ほどになるんですが「リーダーをやれば事業所大会で発表しなくても良い」と言うものから立候補をした。(笑い)



始めの頃は「自分たちの仕事を楽にして、小遣いがもらえる」それだけが魅力で、活動の方は「まあほどほどに……」と言った滑り出しでしたね。今でもほどほどですが(笑い)

司会 発表するのは今でもイヤですか。

長島 イヤですヨ(笑い)。

人前で話すのは、大の苦手です。

丸山 私も子供の頃から、ドモルくせがあって、人前で話すことに強いコンプレックスがあったんです。



会合も、発表もイヤでしたね。



司会 サークル活動をやっていて、

みなさんいつのまにか能弁になった。サークル活動は話し方教育の特効薬ですネ。

藤野 小林コーセーへの入社が54年で、始めのころはサークルとは、趣味の会か同好会かと思っていたんです。会社のことをやると言うんで、気乗りもしないし「私たちは主婦で忙しいからネ……」なんて逃げまわっていました。

梶田 本気になったきっかけは?

藤野 56年にQCサークルに熱心な上司にめぐり合っ、この上司が「本気でやれ!」と言うわけネ。

「それじゃやるか」と始めたんですが、良くわからないから、上司の指導通りに進めた。何とかテーマを完了して、それを発表したら会社大会で金賞になった。

「なんだ!簡単じゃないの」と言うんで熱が入ってきたわけです。

司会 桑原さんの話しと共通している点は、小林コーセーさんの動機づけのうまさですネ。

桑原 恵まれていたと思います。上司の指導・支援とサークルの学ぼうとする素直さ、それにやる気といったものが、うまくかみ合ったからだと思います。

梶田 女性だからやりやす〜い(笑)

藤野 男だって女だって仕事は同じヨ!(笑い)

司会 みなさん方でも初めから順調ではなかった。それがだんだん成長してきたということですね。

どのサークルだって、その気になれば一流になれる素地があるという『証明』でしょう。

リーダーの工夫と努力

— 愛情が勇気の決め手 —

司会 リーダーの苦勞といった点に話しを移して……

長島 一言で「和づくり」ですネ。今いち乗り切れないのは、自分のためにやるという気分が希薄なときで「時間がない」とか悪条件ばかり見えてきます。

やりたくない理由、やれない理由は、いくらでも探せるわけですから、つきつめれば「自分のためになっている」といった実感がないとダメですね。

この気分をメンバーに持たせることが仲々……。

桑原 事務部門は、どちらかと言うと上品さを装う傾向があって、自分の本心を出していくことが苦手ですし、自分の心を卒直に伝えるには勇気が必要です。



当らずさわらずで自分だけ良い子になるのではなく良いサークルにするにはどうするか……でした。

司会 それを打ち破れたのは何でしょう。

桑原 良いサークルを作りたい。良い評価を得たいというだけでなく、メンバー一人ひとりの素養やエチケットの面なども高めてあげたい。サークルを通して人間的に成長して欲しいという願いが、勇気を引き出してくれたんだと思います。

丸山 以前は先輩が後輩を育てる気風があったんですが、技術革新が進んで、これが難しくなってきましたね。みんなて勉強しよう。みんなてやってみよう

いうふうにはやらないと前進できないんです。

学び合う気風づくり、場づくりには苦勞しました。

特に私のところは職人気質が強いからです。

長島 リーダーの下にテーマ・リーダーが4人いて、それぞれにチームを構成しているんですが、お互いに刺激し合い競走し合うよう仕向けています。

私自身が職制であってリーダーですから、立場上は指導・支援をする面とリーダーシップを求められる面のかね合いが微妙ですね。

梶田 「生産に追われて時間がとれない」と言うと、



コーサーの藤野さんに怒られそうですが（笑い）昼夜勤と増産で忙しいのにかこつけて、ともするとおざなりになることがあります。メンバーの繋がりを強めるため、連絡ノート

を作ったり工夫はしてるんですが、なんと言っても時間をつくるのが難しい。

藤野 時間がないと言うのは、時間を作る努力をしないと言うことでしょう（笑い）

1日24時間のうち、会社での時間は限られているわけだから、自分の自由になる時間を使うしかない。

データ整理を家でやる。改善提案は土・日曜日に書いて月曜日に持ち寄るぐらいでなくちゃね。

梶田 また怒られた（笑い）

「共通のテーマが見つからない」とか「共通の話題がない」といったレベルではなく「テーマに共同でとりくむだけの魅力がない」ということの方が問題です。

職場にロボットが入ってきてから、意気込みが違ってきましたね。

ロボットはメーカーによって機能が違うし、融通がききません。不具合も結構多い。「ロボットを人間が使っているという気持を忘れるな」をサークルの相言葉にしてから、比較的会合がうまくいくようになりましたけどね。

司会 時間がないというのは、多くのサークルの悩みでしょうね。交替勤務をやっていると時差ボケもあるし、調子が出ないといったご苦勞は多いでしょう。

藤野さんは、ご苦勞はなかったでしょう。

藤野 私は「教えられたことを素直にやってみる」を



信条にしてみましたし、リーダーという意識よりも一人のメンバーとと思っていましたので、特に苦勞とは感じませんでしたね。自分の時間をとられるのはイヤだと思えば苦勞なん

でしょうけど、充実感の方が強かったから。

充実感が最高の賞！

司会 ご苦勞の多い中で頑張ってきた話を伺ってきましたが、苦勞の代償として得られたものを紹介していただきましょうか。

藤野 私たち主婦は、たわいのない井戸端会議では、結構おしゃべりですが、意見を正確に相手に伝えることは苦手なんです。まして発表するなんて言うのは大の苦手だったんです。サークルの場の積み重ねが、ずい分成長させてくれたと思います。

それから、コミュニケーションの良い楽しい職場になったこと。みんなと充実して過せることなどです。

単調なコンベア作業であっても、常に改善を考えながら仕事をするということが楽しいんですよ。

サークル活動がなく、ダラダラ仕事をしていたら単語でつまらない毎日だったろうと思います。

丸山 仲間と役割を分担しながら造り上げることは、素晴らしい満足感、信頼感を生み出してくれますね。

梶田 仲間との心のふれ合いを通じて得られる連帯感、自分たちの改善が顕著に効果を上げたときの達成感、きれいごとでない充実感が得られますね。

それと、努力が認められたときの賞も喜びを増幅してくれます。

長島 他から預けられた設備と違い、自分たちで造り上げた設備への愛着心は違いますね。不具合でもあると、本気で挑戦していく執着心が出てきます。

桑原 自分たちの改善したものの使い心地を話し合っているときは楽しいし、何かに無中になっているときは充実感がありますね。みんなが集中しているのを見ると、これがリーダー名利だなと嬉しくなります。

私はどちらかと言えば、オッチョコチヨイな奥さん

だったんですが、家庭でも重点指向ができるようになったし、私生活に応用できることが素晴らしい。

司会 サークルの中には、仲々うまくいかないで、悩んでいる仲間も多いんですが、アドバイスを……

桑原 オブザーバーでシラケていてはダメだと思います。私たちはオブザーバーにはならないようにしましょうと励まし合ってきました。

素直になって、本気でやってみる。サークル活動の本当の体験をしてみることをお勧めします。

理屈だけでは、どうしてもわからないと思います。

藤野 中途半端にやるのではなく、一度は徹底的にやってみることでですね。

悩んでいる人たちに質問してみたいんです「本当にやったことがあるんですか」「寝食を忘れるぐらいとりくんだんですか」……と。らく好みしていて結果だけ求めるのではダメですよ。ぜひ一度成功体験を味わって欲しいと思います。必ず活路は開けるんですから。

司会 よくわかりました。「やるっきゃない」ということでですね。(笑い)



一流の域に達したみなさんが、これからさらにチャレンジしたいと思っていることを聞かせて下さい。丸山さんから一言ずつどうぞ。

丸山 情報化社会ですから、いろいろ迷わされることも多いんですが、自己定位を大事に、自分の考えをきちんと持ち、その上で順応性を失わないようにしたいと思います。ソフト面のリーダーシップには自信がついてきましたが、技術面のリーダーシップはこれからだと思っています。サークル活動を進めると、ますます勉強することが増えてくるという感じですね。

藤野 全日本大会で金賞をいただきましたから、一つの目的は達したと思っています。これからは追われる立場ですから、金賞サークルの名に恥じないようメンバーのレベルアップに努力したいと思います……と言うのはカッコ良い話して、本当を言うと抱負なんてないんですヨ(笑い)

今日がある。明日もある。だから真剣にぶつかっていただくです。強いて言えば、今までは量を追ってき

ましたので、これからは質を求めていきたい。

梶田 10年前の洋上大学で、11日間寝食を共にして学び合った仲間と、下船して別れるときの辛さ……あれは何だったんだろうと振りかえっています。短い期間で作れた感動が、サークルで作れないはずはない。ぜひ極めてみたいと思っています。

桑原 本部長金賞をいただいたころのように、ハチマキしめて頑張り続けるのは無理だと思います。

今でも決して立派な人間だとは思っていませんが、サークルがなかったら、もっとつまらない人間だったでしょうし、サークルは私の先生だと思っています。

これからも、サークル活動から教えていただきながら歩み続けたいと思います。

長島 地区選抜で大会賞をいただきましたので、次は全社大会優勝を狙いたいと思っています。

継続は力ですから、サークルの育成と向上に力をそそいでいきたいと思っています。

司会 実体験から生れた貴重な教訓は、必ず多くの方々に感銘いただけるものと思います。みなさんの益々のご活躍を祈念して座談会をしめたいと思います。

長時間、本音のお話しをありがとうございました。



座談会の記録を抑せつかったとき、セレモニー中心になるであろう年誌に、一服の清涼剤を提供すべく、いくぶんマンガチックな編集を、ひそかに意図していた。

しかしながら、出席者の熱気溢れる実体験を伺っていて、ひそかな意図が揺ぎ出し、忠実に再現しないと申し訳げがないと思えて方向を変えた。

記事にまとめ、読みかえして見ると、どうも座談会の臨場感が湧き出してこない。書き直し、手を加えても駄目である。

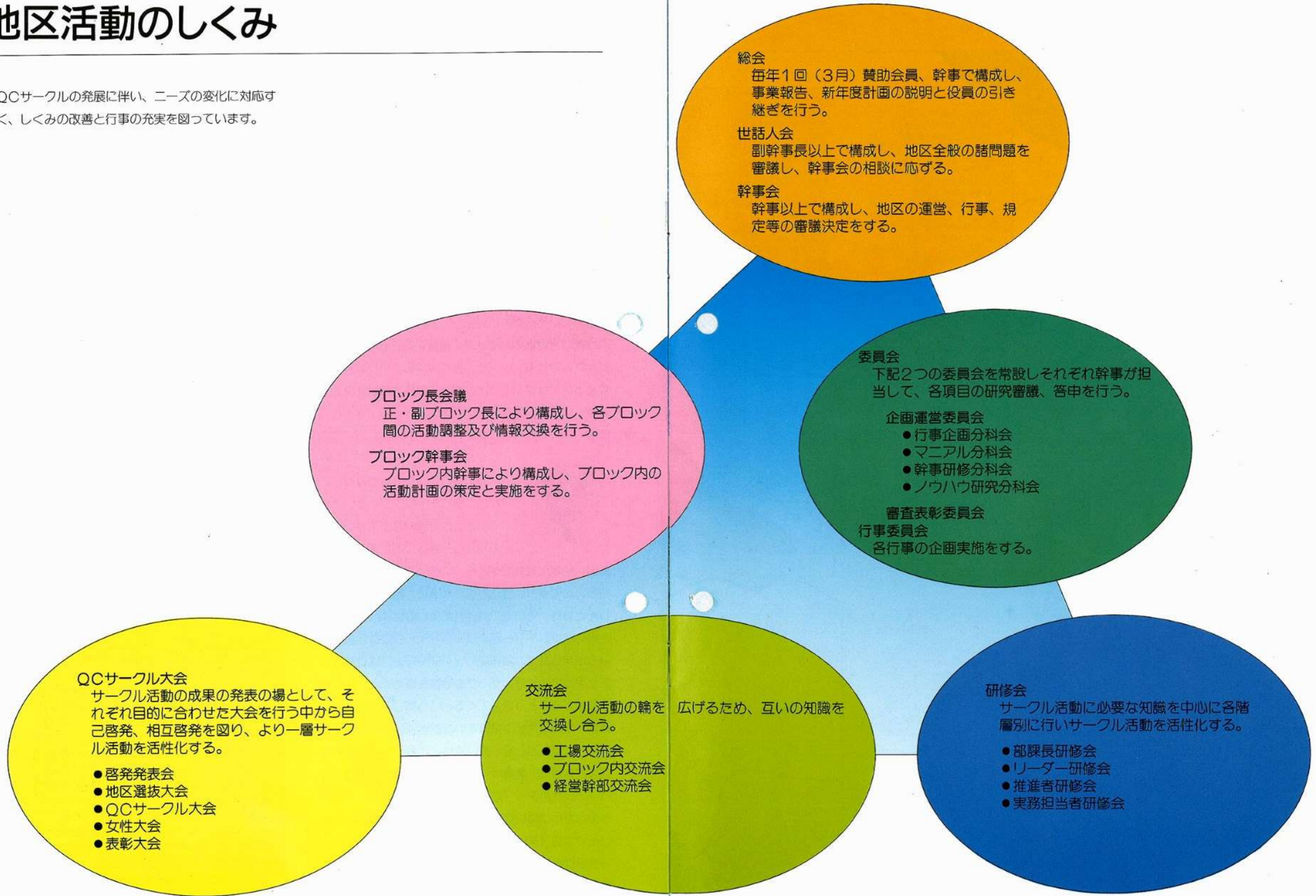
3時間に及ぶ貴重な実践談は、それぞれが有する背景と固有の挑戦実録こそが迫力に満ちていたのである。

残念ながら、これらすべてを載せるスペースは与えられていない。勿論、小生の一知半解と文の拙さがすべてであることに変わりはない。願わくば、各位の読み上手で補っていただくことに甘えたいと思う。

編集委員 日立金属㈱ 面川 進

地区活動のしくみ

QCサークルの発展に伴い、ニーズの変化に対応すべく、しくみの改善と行事の充実を図っています。



総会
毎年1回(3月)賛助会員、幹事で構成し、事業報告、新年度計画の説明と役員引き継ぎを行う。

世話人会
副幹事長以上で構成し、地区全般の諸問題を審議し、幹事会の相談に応ずる。

幹事会
幹事以上で構成し、地区の運営、行事、規定等の審議決定をする。

委員会
下記2つの委員会を常設しそれぞれ幹事が担当して、各項目の研究審議、答申を行う。

- 企画運営委員会**
- 行事企画分科会
 - マニュアル分科会
 - 幹事研修分科会
 - ノウハウ研究分科会

審査表彰委員会
行事委員会
各行事の企画実施をする。

ブロック長会議
正・副ブロック長により構成し、各ブロック間の活動調整及び情報交換を行う。

ブロック幹事会
ブロック内幹事により構成し、ブロック内の活動計画の策定と実施をする。

交流会
サークル活動の輪を広げるため、互いの知識を交換し合う。

- 工場交流会
- ブロック内交流会
- 経営幹部交流会

研修会
サークル活動に必要な知識を中心に各階層別に行いサークル活動を活性化する。

- 部長研修会
- リーダー研修会
- 推進者研修会
- 実務担当者研修会

QCサークル大会
サークル活動の成果の発表の場として、それぞれ目的に合わせた大会を行う中から自己啓発、相互啓発を図り、より一層サークル活動を活性化する。

- 啓発発表会
- 地区選抜大会
- QCサークル大会
- 女性大会
- 表彰大会

地区行事に参加して — 賛助会員の声 —

第1650回埼玉地区QCサークル大会 体験談の発表を受講して



NTT埼玉支社
暮石 勝己

私達のQCサークル活動は昭和59年にASK（安全、即応、効率）活動としてスタートしてQC活動の基本的知識の習得を終了し、実践に向けてQC手法に磨きをかけている段階です。

今回の発表を受講し、QC手法、七つ道具の活用には感心させられ、大変勉強になりました。私は特に「職場に咲いた一輪の花」の発表には感動しました。時計工業の塗装工程不良率の改善をテーマに、現状の調査、分析の中でパレート図、各種グラフ等を大いに活用して徹底的に真の要因を解明し、また対策面も項目ごとに歯止めし、そして経費をかけずに効果をあげ、その



成果を維持管理していること、また発表者の説得力、OHPの活用等、視聴覚にアピールする発表の手法すべてが私達QCサークル活動のカンフル剤となりました。

私達のサークル名は「若鷲」といいます。名の由来は新鮮な目で常に観察し、両足を大地に固定させ目標に対し食いつく精神を表わしています。（メンバー構成5人、平均年齢35才、テーマ歴3回）現在取り組んでいるテーマは「各種資料の共用化」です。クリーンオフィスを目標に、年内に個人資料40%まで減らそうと取り組んでおります。

今回の受講によるQC手法を大いに活用しリーダーとしてチームワークを大切に全員一丸となりQC活動に取り組んでいきたいと思っております。私達のサークルも他企業の人達の前で、自信を持って聞いて頂ける日が1日も早く来るよう頑張ります。

「QCサークル大会で発表を体験して」

エヌエスケー・トリントン(株)鴻巣工場
加藤みゆき



私は入社して2年半ですが、今年の埼玉地区QCサークル大会で発表を経験することができました。発表するという事を上司から知らされた時は、

私にできるかどうかとても心配でしたが、サークル員の励ましや、フィルム作りが進むにつれて、だんだん「がんばらなくては」という気持ちに変わってきました。

当日発表している時の事は、無我夢中でありあまり記憶に残っていませんが、その後は他サークルの発表を落ち着いて聞く事ができ、どのサークルも私達と同じ様な悩みを持ち、その中でいろいろ工夫して活動していることが参考になり、また勇気づけられました。



表彰式では、私達の活動が高い評価をうけ胸がいっぱいで涙が出てしまいました。

この様な感激は初めてで「やった」という気持ちと共に、これからも全員の力で地道な活動を進めていこうという新たな決意の様なものがわいてきました。また機会がありましたら、是非参加したいと思っております。

地区行事に積極的に参加し、 向上を目指したい

関東精器(株)大宮工場
宮崎 高明



QCサークル関東支部埼玉地区発足10周年を迎えられたことを心からお祝い申し上げます。当社はQCサークル活動

を導入し15年になります
が、まだまだ活性度も低
く、少しでも先輩会社に
追いつこうと、地区主
催の行事には積極的
に参加するようにし
ております。その間、
私も研修会に参加し勉強



させていただき、我々の活動の立ち遅れを感じました。
工場の推進担当者として今後とも機会をとらえ、リー
ダー、メンバー等を地区行事に積極的に参加させ、Q
C手法や他サークルの良い点を学び、またお互いの交
流を深めながら、工場の状況に応じたQCサークル活
動を推進し、活動の活性化と質的向上を目指し、頑張
っていきたくております。尚、当工場は女性が多
く、第11回QCサークルリーダー研修会のように女
性の参加できる企画はありがたいと思っております。
最後にQCサークル関東支部埼玉地区の今後尚一層の
ご発展をお祈り致します。

「第1650回埼玉地区QCサークル大会」 に参加して



日本テキサスインスツルメンツ(株)
鳩ヶ谷工場
川村 道二
(ウエスタンハットサークル)

7月19日の埼玉地区大会に
参加の機会を戴き先づお礼を
申し上げます。発表歴の回数も

さることな

がら各サークルが夫々QC手法に
ほぼ忠実でその洗練されたプレゼ
ンテーションは見事なものと感
心致しました。我々サークル
もQC手法を基本に可成り練
り上げたつものものが世
話人各位のご感想では「現



状把握」の甘さ、「分析」の稚拙さ等の指摘をうけ、そ
の適切な批評は流石エキスパート、早速次回への指針
にと拝聴致しました。ご常連企業の活動の活発さは内
容は元よりホイルのポチ、ネガ両フィルムの上手な使
い分け、ホイルワークのユニークさ等に表われ費用の
面もさぞかしと推察されますがその卓越したテクノッ
クには殊の他魅せられ我々もその素晴らしさを傍観す
る手はないと「洗い直しと再出発」について早速検討開
始です。何れにしましても「参加」で得たことの大き
さは予想を遥かに超えたと云うのが共通の実感でした。

事例発表は貴重な体験

(株)ライフストア小集団事務局
山浦 哲男



私共の会社は流通業（スー
パー）でございますので、Q
Cサークル活動はその緒につ
いたばかりであります。先日幹

事会社の御好意により、啓発大
会と間接大会に事例発表させ
て頂きました。これは発表
者のもとより事務局にとつ
ても初体験で、貴重なものであり
ました。他企業と比較できること、
講評を頂けることは何にも増し
ての啓発であります。私共の場
合、KKDの固まりでありますの
で、人一倍科学的な管理・改善に
魅力を感じますし、発表会への参加はその意味でも大
きな刺激となります。



何分にも我々の場合、経験不足ですが、逆にいえば
それだけ含みもあるといえます。基本と他社の経験を
踏まえ、我々ならではのQCサークル活動を計ってい
きたいと考えております。QCサークル大会に参加す
れば他で得られないものを必ず得ることができます。
今後も積極参加致します。

明日に向けて—提言—

はじめに

発足10周年を迎えるに当り「明日に向けて」と題して、相談役の方々にお集りいただき今後を展望していただいた。

これまでは発展の一途を辿ったが、今後どう伸してゆくか期待と夢も多いが不安も少なくない。

それぞれの観点に対する提言は、貴重な示唆に富んでいる。今後10年の軌範としたい。

進行 地区世話人 能見時助

1. QCサークル埼玉地区の実情・特色について
2. 今後のQCサークル埼玉地区は、どうなったら良いか
3. 全体的な視野に立ったQCサークル

—活動のあり方、行く末について—



地区相談役
岩 濤 武 明
埼玉工業株

1. 埼玉に来て最初に感じたことは、地場産業が少ないせい、何も特色がないという点だ。
ファミリー埼玉と自称する割には、幹事は理屈っぽく、東京の亜流といった感じであった。
愛知では、幹事の1人はQCサークル経験者を当てることを約束事としている。土地に密着した泥臭さが出てこそ、ファミリー埼玉と言える。
2. (1) 県民性の強い地場産業、特に男性主体の企業へ普及浸透するための一層の工夫、努力が望まれる。
(2) 自走力のあるブロック活動が望まれる。そのためには、幹事を見直すなど、もう一工夫欲しい。

(3) 活動の継続性は、支部長会社の負担を抜きに考えられない。専任事務局方式を具体化し、運営の効率化が必要になろう。

(4) 各企業のラインの生の声を反映させるためには、幹事を増やし、構成はスタッフ1+ライン1=2とすることが不可欠である。

3. 支部選抜大会でも感じたが、QCサークル活動に物凄い変化が起っている。

現業主流には、OA化、ハイテク化がぐんぐん踏み込んで行く。これらに対応するハイレベルのサークル活動が求められる。一方、パートタイム、女子社員、JHS関係では、従来のモチベーション主導型が重要視される。

いずれにしても、共通して言えることは“勉強する集団”が強調されることになるだろう。

QCサークル活動は、TQCの一環と大上段に構える必要はない。みんなでやる品質管理活動である。

JHSは未開発の分野で、従来の綱領、運営そのままでは適用が難しい。



地区相談役
田中浩
各和精機(株)

1. 埼玉地区は交通の便から云って地区内の人が一ヶ所に集まり難い環境にある。にも拘らず、当地区のQCサークル活動は目覚ましい。これは、本社スタッフよりも事業所又は工場スタッフが多く、地に足のついた活動をしているからだろう。
2. 10年前と現在とでは、地位が随分変っている。ダ・サイタマを脱却しようとしていたときに、泥臭さを言っても無理で、スマートにやりたがる。



地区相談役
船田忠尚
(株)旭計器製作所

1. 行事の運営を、マニュアルに基づいて忠実にやろうとしている点には驚いた。
幹事会社も、自社の努力はあろうが、他社交流で啓発され、良い点を吸収し合ってきている。
「お世話になった恩返し」の気持ちを感じられる。
2. (1) 東京のベッタタウンということもあるが、気質が変わってきている。他県出身者も多い。
OA化、自動化など変化も多くなるだけに、今後の地区活動も脱皮が求められる。
(2) 地区内に有力企業も多い。トップ懇談会を設け理解を深めていただくよう、歴代支部長にお願いしたい。

ブロッツの特長を活かすやり方の中で、大いに工夫が望まれる。

3. 基本理念、やり方は今後も継続されると考える。
企業間、企業の中の活動のバラツキが云々されるが、サークル自身ではなく、経営者、管理者の役割が大きい。Human Aspectの問題をどうするかである。
企画、設計、管理部門は、仕事に対する意欲は抜群である。モチベーションやQC手法を特に訓練する必要はない。目的達成のためのGroup Thinkingの重要性、有効性を体得させる方が有益である。

(3) 小地域毎に今後の活動展開を研究し合うことも必要である。多忙な幹事は小地域で活動した方が良い。中小企業への浸透の核になって欲しい。
(4) 支部長会社の負担軽減のため、ある程度ブロッツに委ねるとか、専任体制も検討すべきであろう。
(5) とに角、地域社会が豊かにならないとダメである。中小企業、地場産業に貢献できる地区活動を願う。

3. 洋上大学に参加して感じたことだが、参加者が若く画一的になってきた。決められたことだけはキチッとやるが、拡大性がない。

会社の中は、生産技術の人たちがロボットや自動機のメンテを残業してやっていて、未来を余りやっていない。これは本来現場がやることだ。

それでこそ未来が創り出せる。

QCサークルのセオリーに基づいてやるのは良いが創造、開発への飛躍も欲しい。

いつまでも、ムード、ナニワ節の時代ではない。いわゆる構造不況は、実は企業内不況である。

明日に向けて—期待—

埼玉地区が発足して10年を経過した。その間基礎固めから躍進へと、地区成長のために努力をつづけられた歴代の幹事長の方々に、地区活動への期待を寄せいただきました。

“継続は力なり”といわれている
基本に忠実に、地道な活動をしよう
一勝の価値に惑わされず
一生の価値を大切に！



昭和51年度幹事長
マルコ電子(株)
村上正世

Family埼玉 10周年を節目に
個人として、又サークルとして、今まで以上に
+の成長と +の喜びを
味わえるような活動をみんなと創造していきましょう。



昭和52年度幹事長
富士電機(株)吹上工場
高橋 健二

QCサークルの輪を拓げよう
明るい社会 ファミリー埼玉

北埼玉問題は自分たちの問題としてキレシメする
とくにQCサークルの基本がある。
単でなチームワーク、よりよい地球環境など、建付け
アワード活動もためになる。多く共通な分野にたよ
らねば。
このような考え方をもち、QCサークルの発展が
入ると数多くならせよう。たよらねば。



昭和53年度幹事長
三洋電機(株)深谷工場
中村 雄

QCサークル活動の基本と原動力を礎に
20周年を目標とし、時代の変化に対応
創造する小集団活動で、ファミリー埼玉
の構築を推進しよう。



昭和54年度 幹事長
雪印食品(株) 空塚工場
松本 忠明

知と技
チークアップ
活力を養って
明日の躍進をはたそう



昭和55年度幹事長
青木 健二

サークルの良さは、そこに集まる場があるということ、
仲間がいること、そしてお互いの喜怒哀楽を感じあ
える人間としての生きがいを生む場だ。
産業、企業をこえての啓発で、地区活動の一層
の発展を期待する。



昭和56年度幹事長
日産ディーゼル工業(株)
羽賀 利徳

男性サークルで全日本選抜
大会 金賞を!!

男性サークルの奮起を望むと共に
女性サークルの一層の活
躍を期待します。
昭和57年度幹事長
永松メック(株)
近藤 敏郎



レベルアップのために全日本選抜サー
クルの育成も必要ではあるが、やはり仲間
を増やし交流を深める活動が、地味で
はあるが一番大切と思う。



昭和58年度 幹事長
(株)小林コーセー 狭山事業所
石川 健

QCサークル活動は自分たちのための
活動であることを自覚し、活動を休
まず続ける工夫と努力を心掛けよう。



昭和59年度 幹事長
萱場工業(株)浦和工場
松田 久

地区活動10年の経験を生かし、
20周年へ向けて飛躍しよう。
QCサークル活動で取場の活性化、
人間性の向上を目指そう。



昭和60年度 幹事長
富士ゼロックス(株)岩槻事業所
平井 芳次

QCサークル活動で拓げようサークルの輪 伸ばそう 創造の芽!

歴代役員一覧

役名	51年度	52年度	53年度	54年度	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度	60年度
地区支部長	小木 哲 (東芝)	岩下 三弥 (富士電機)	宗 誠 (スカイアルミニウム)	横井 裕 (雪印食品)	内山 昭治 (新電元工業)	藤谷 弘 (日産ディーゼル工業)	向井 秀夫 (小松メック)	小野口和夫 (小林コーサー)	小久江 正 (カヤバ工業)	石井 仁 (富士ゼロックス)
地区副支部長	岩下 三弥 (富士電機)	宗 誠 (スカイアルミニウム)	横井 裕 (雪印食品)	青木 理悦 (新電元工業)	海老沢 孝 (日産ディーゼル工業)	向井 秀夫 (小松メック)	小野口和夫 (小林コーサー)	茶野 敬 (カヤバ工業)	溝尾 久 (富士ゼロックス)	小松原隆治 (リズム時計工業)
地区顧問					横井 裕 (雪印食品)	内山 昭治 (新電元工業)	藤谷 弘 (日産ディーゼル工業)	向井 秀夫 (小松メック)	小野口和夫 (小林コーサー)	小久江 正 (カヤバ工業)
地区世話人	能見 時助 (ブリヂストン)	←								能見 時助 (ブリヂストン)
地区相談役				岩満 武明 (埼玉工業)	←					岩満 武明 (埼玉工業)
〃						田中 浩 (各和精機)	←			田中 浩 (各和精機)
〃								船田 忠尚 (旭計器製作所)	←	
地区副世話人	馬場 幸夫 (大日本電線)	←								馬場 幸夫 (日電サービス)
〃		村上 正也 (東芝)	←						村上 正也 (マルコン電子)	
〃			宿谷喜久雄 (富士電機)	←						宿谷喜久雄 (富士電機)
〃				中村 雄 (スカイアルミニウム)	←					中村 雄 (スカイアルミニウム)
〃					松本 忠明 (雪印食品)	←				松本 忠明 (雪印食品)
〃						青木 理悦 (新電元工業)	←			青木 理悦
〃							羽賀 利徳 (日産ディーゼル工業)	←		羽賀 利徳 (日産ディーゼル工業)
〃								近藤 敏郎 (小松メック)	←	
〃									石川 健 (小林コーサー)	
〃										松田 久 (カヤバ工業)
地区幹事長	村上 正也 (東芝)	宿谷喜久雄 (富士電機)	中村 雄 (スカイアルミニウム)	松本 忠明 (雪印食品)	青木 理悦 (新電元工業)	羽賀 利徳 (日産ディーゼル工業)	近藤 敏郎 (小松メック)	石川 健 (小林コーサー)	松田 久 (カヤバ工業)	平井 芳次 (富士ゼロックス)
地区副幹事長	宿谷喜久雄 (富士電機)	中村 雄 (スカイアルミニウム)	野本 信吉 (雪印食品)	森 寿夫 (新電元工業)	藤谷 弘 (日産ディーゼル工業)	近藤 敏郎 (小松メック)	石川 健 (小林コーサー)	松田 久 (カヤバ工業)	平井 芳次 (富士ゼロックス)	佐藤 雄治 (リズム時計工業)

歴代幹事一覧

企業名	年度	51年度	52年度	53年度	54年度	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度	60年度
アサヒゴム(株) 花園工場		岩橋 教夫 山田 真也	岩橋 教夫 山田 真也	山田 真也	山田 真也	山田 真也	山田 真也	山田 真也	山田 真也	山田 真也	藤岡 國男
大倉電機(株) 坂戸工場		中原 太平 高橋 平八	本間 義次 逸見 昭男	本間 義次 逸見 昭男	本間 義次 逸見 昭男	本間 義次 池田 義明	林 節治 池田 義明	林 節治 佐藤 徳 岩沢 祥行	林 節治 堀口 武 岩沢 祥行		
ジェコー(株) 行田工場		小林 昇 畑 勇 塩田 邦彦	小林 昇 畑 勇 西 一久		長田 誠吾 畑 勇	長田 誠吾 畑 勇 出井 章					
新電元工業(株) 飯能工場		青木 理悦 矢野 正寿	青木 理悦 矢野 正寿	青木 理悦 矢野 正寿	矢野 正寿 安江 和廣	矢野 正寿 安江 和廣 浅見 節子		内山 昭治 古屋 貞男 矢野 正寿	内山 昭治 矢野 正寿	内山 昭治 矢野 正寿	内山 昭治 矢野 正寿 沢田 正博
スカイアルミニウム(株) 深谷工場		中村 雄 安中 良作 高藤 達夫	安中 良作 斎藤 達夫	安中 良作 西尾 紘一 佐藤 光恵		高田 陽允 西尾 紘一	高田 陽允 西尾 紘一	真島 忠久 西尾 紘一	横井 賢五 西尾 紘一	西尾 紘一	倉上 輝吉
ダイニツク(株) 深谷工場		高橋 宏美 小野沢一夫 川瀬 俊彦	吉田 宗史 川瀬 俊彦								
株東 芝 深谷工場		三井 敏英 佐藤 直明 萩原 文枝		大西 一弘 大塚 偉夫 神谷 宗平	菅原 万了 神谷 宗平	石井 健師 新柴 勇 古閑 忠三	石井 健師 古閑 忠三 新井 竹男	神谷 宗平 小山 進 石井 健師	神谷 宗平 小山 進	西方路 明 佐藤 直明 神田 醇一	西方路 明 佐藤 直明 神田 醇一 吉田 広規
日産アイゼル 工業(株) 上尾工場		武藤 政春 鍋田 梅若	武藤 政春 鍋田 梅若	唐沢 和夫	唐沢 和夫 橋本 賢一	中村 令 橋本 賢一	橋本 賢一 桑木野 修 松永 洋子	橋本 賢一 桑木野 修 松永 洋子	中村 光男 鈴木 康久	中村 光男	中村 光男 腰塚 清 西倉 栄一
日東電気工業(株) 関東工場		安部 三郎 西田 駿一	安部 三郎 西田 駿一								
日本鋼管ライト スチール(株) 熊谷工場		菊地 茂男 鈴木 幸夫 堀内 博典	菊地 茂男 鈴木 幸夫 堀内 博典	小平 虎己 林 芳晴			林 芳晴	林 芳晴	菊地 茂男 岡本 康男 林 芳晴	脇本 尚武 林 芳晴 竹内 文男	脇本 尚武 林 芳晴 竹内 文男
富士電機(株) 吹上工場		笠原 弘行 新井八重子	河本 正志 笠原 弘行 新井八重子		沼尾 昭 笠原 弘行	沼尾 昭 笠原 弘行	笠原 弘行 久保田勝男	笠原 弘行 久保田勝男	笠原 弘行 久保田勝男	服部寿三雄 石山 昭治	服部寿三雄 湯田 常一 石山 昭治

企業名	年度	51年度	52年度	53年度	54年度	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度	60年度
べんてる(株) 草加工工場		物江 孝志 大野 康	物江 孝志 大野 康	大野 康 近藤 美代	大野 康 近藤 美代	近藤 美代 山崎 信義 林田 恒彦	山崎 信義 林田 恒彦	林田 恒彦 松本 健二 長島 輝	林田 恒彦 長島 輝	長島 輝 内藤 隆則	長島 輝 中西 明生
雪印食品(株) 東京工場		新田 叡 鈴木 利夫 金沢 幹夫	新田 叡 鈴木 利夫	富山 隆一 半田誠二郎 川村 邦保	富山 隆一 鈴木 利夫 阿部 直治	富山 隆一 鴨下 三郎	富山 隆一	富山 隆一 鴨下 三郎	富山 隆一 阿部 直治	富山 隆一 阿部 直治	
横浜ゴム(株) 上尾工場		松尾 碩彦 島田 正雄	松尾 碩彦 島田 正雄	松尾 碩彦 島田 正雄	小野 昭 山崎 勝己	小野 昭 山崎 勝己	小野 昭 山崎 勝己				
(株)ノケン 熊谷工場		大井 浩一 三田 光雄	大井 浩一 三田 光雄	大井 浩一 中沢 清治	中村 重吉 中沢 清治	中村 重吉 中沢 清治	中村 重吉 中沢 清治	大井 浩一 中沢 清治	大井 浩一 中沢 清治	大井 浩一 中沢 清治	大井 浩一 松本 研誠 中沢 清治
自動車機器(株) 松山工場			藍原 哲 溝畑 達雄 矢田部侑亮	藍原 哲 高山 久幸	藍原 哲 高山 久幸	藍原 哲 高山 久幸 権田 秀作	権田 秀作 高山 久幸	権田 秀作 高山 久幸	権田 秀作 高山 久幸	権田 秀作 高山 久幸	藤井 明広
バイオニア(株) 所沢工場			石井 良生 福島 功	淵江 希一 有馬 純一							
雪印食品(株) 関東工場			野本 信吉 大矢 和彦 金沢 幹夫	高橋 幸二 金沢 幹夫 須賀 磐雄	高橋 幸二 吉田 勲 新井喜美代		木幡 弘志 須賀 磐雄	須賀 磐雄	須賀 磐雄 伊庭 誠	門馬 重明 山崎 賢三 小関 明	小関 明 山崎 賢三
リコー特機(株)			泉 高幸 上元 公								
ロンシール工業(株) 蒲生工場				遠藤 昭定 斎藤 哲夫 蜂巣 道夫	遠藤 昭定 斎藤 哲夫 蜂巣 道夫						
株小林コーセー 狭山事業所				野田 裕充 鉄橋 忠幸 佐藤 則子	野田 裕充 吉田一俊	野田 裕充 新北 未昭	石川 健 野田 裕充 新北 未昭	渡辺 雄造 新北 未昭 粕谷 敬子	渡辺 雄造 新北 未昭	小平真知子	田中 紀一 石橋 義己 小平真知子
カヤハ工業(株) 熊谷工場				原 正 田中 直治	原 正 田中 直治 関 隆昭	原 正 関 隆昭	原 正 関 隆昭	原 正 関 隆昭	原 正 関 隆昭	源川純水男 高橋 強 佐々木俊宏	板垣 敬雄 田中 直治 高橋 行雄 佐々木俊宏

企業名	51年度	52年度	53年度	54年度	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度	60年度
小松メック株 川越工場			菅野屋一郎 浜野 駿	三浦 治男 平野 俊明	三浦 治男 平野 俊明	平野 俊明 足立 好司	高野 景一 平野 俊明 藤本 雅人 小林須美江	高野 景一	高野 景一 長谷川広文 福井 簡秀	高野 景一 福井 簡秀
リズム時計工業株 庄和工場			金子 正 真家 英世	金子 正 真家 英世	金子 正 茨沢 好治	金子 正 茨沢 好治	金子 正 三浦 静江	金子 正 稲田 信幸	金子 正 小林 正五 玉谷 明男 山田 信治	小林 正五 鈴木三子代
三晃金属工業株 深谷制作所			佐藤 勝彦 吉田 一政	佐藤 勝彦 中村 重郎	佐藤 勝彦 中村 重郎					
三輪精機株			日野 勝義 金沢 稔	日野 勝義 金沢 稔	日野 勝義 北原 昭一	日野 勝義 安田 良則	斉藤 好之 安田 良則	斉藤 好之 安田 良則	斉藤 好之 松崎 清	松崎 清 沼野 明 藤井 伸司
曙ブレーキ工業株 羽生製造所				中尾 明久 鈴木 康之	大村 重典 小磯 敏雄					
日立金属株 熊谷工場				保坂 嘉郷 南河 淳一	保坂 嘉郷 鈴木 元	保坂 嘉郷 面川 進	華岡 修 藤塚 廣重 面川 進	華岡 修 面川 進	岡安 貞也 面川 進	岡安 貞也 面川 進
カヤバ工業株 浦和工場				大場 米治	佐藤 信義 荒井 謙	田辺 保衛 藤沢 実	田辺 保衛 藤沢 実	尾島 徳治 藤沢 実 村上 眞弓	尾島 徳治 藤沢 実 村上 眞弓	尾島 徳治 藤沢 実
埼玉工業株				長谷川正一	小島 三夫 中善寺健一	加藤 芳一 丹下 進				
エーザイ株 本庄工場				松沢 雄飛 野村 武	松沢 雄飛 野村 武					
東洋インキ株 川越工場				渡辺 信夫 原田 靖夫	渡辺 信夫 原田 靖夫					
大日本電線株 熊谷工場					宇津見浩一 今井 幸義	宇津見浩一 今井 幸義				

企業名	51年度	52年度	53年度	54年度	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度	60年度
株アルピオン 上尾工場					毛塚 友明 馬場 信一	毛塚 友明 相馬 二郎 馬場 信一	飯塚 良男 馬場 信一	伊東 義弘 馬場 信一	伊東 義弘	伊東 義弘
チーゼル機器株 東松山工場						吉岡 克良 大澤孝一郎	大澤孝一郎	中村 享 大澤孝一郎 真田 猛	馬場 孝弘 費田 元紀 大澤孝一郎	費田 元紀 大澤孝一郎
東洋製罐株 埼玉工場						長谷川 功 則久 秀雄	長谷川 功 則久 秀雄	長谷川 功 則久 秀雄 望月 毅	長谷川 功 高倉 寛	長谷川 功 高倉 寛
株ロッテ 浦和工場						井出 東郎 小林 郁夫 保田 雄二	井出 東郎 小林 郁夫 保田 雄二	保田 雄二 松尾 憲人 山口正二郎	小林 郁夫 大蔵 一雄 山口正二郎	小林 郁夫 大蔵 一雄
富士ゼロックス株 岩槻事業所							浅野 周治 吉野 賢一	森山 宗孝 高橋 理 吉野 賢一	高橋 理 枝久保武雄 安達 久子	高橋 理 枝久保武雄 安達 久子
株安川電機製作所 東京工場							木下 雅之 丸幸 豊	木下 雅之 向野 康宏	友枝 親治 後藤 孝行 向野 康宏	友枝 親治 船山 次等
沖電気工業株 本庄工場								松本 史	奥貫 勝矢	奥貫 勝矢
株旭計器製作所									竹下 省次 谷中 章一	竹下 省次 谷中 章一
サンケン電気株									北林 寛 今村 滋昭	北林 寛 今村 滋昭 今田 善郎
大日本インキ 化学工業株 藤工場									松葉 重威 横田 文雄	松葉 重威 横田 文雄

編 集 後 記

■昨年10月の幹事会に記念誌の構想を提案してから早くも1年が経ち、また、記念大会が近づいて来たこの頃ようやく編集を終ることが出来ました。

出来るだけ視覚に訴える、やわらかい編集にする・過去を振り返り将来を展望するという2つの意図がどこまで実現出来たか一沫の不安も湧く思いですが意のあるところを扱っていただければ幸いです。



編集委員

QCサークル埼玉地区10周年記念誌編集委員会

委員長	平井芳次	富士ゼロックス㈱
副委員長	佐藤雄治	リズム時計工業㈱
編集顧問	能見時助	㈱ブリヂストン
	岩瀨武明	埼玉工業㈱
	宿谷喜久雄	富士電機㈱
	近藤敏郎	小松メック㈱
	松田久	カヤバ工業㈱
編集委員	藤岡国男	アサヒゴム㈱
	尾島徳治	カヤバ工業㈱
	小平真知子	㈱小林コーサー
	沼野明	三輪精機㈱
	藤井伸司	三輪精機㈱
	矢野正寿	新電元工業㈱
	倉上暉吉	スカイアルミニウム㈱
	佐藤直明	㈱東芝
	長谷川功	東洋製罐㈱
	腰塚清	日産ディーゼル工業㈱
	中村光男	日産ディーゼル工業㈱
	面川進	日立金属㈱
	湯田常一	富士電機㈱
	石山昭治	富士電機㈱
	山崎賢三	雪印食品㈱
事務局	高橋理	富士ゼロックス㈱
	小林正五	リズム時計工業㈱

啓発10年——埼玉地区のあゆみ

発行 QCサークル関東支部埼玉地区

発行責任者 石井 仁

編集 QCサークル埼玉地区10周年記念誌編集委員会

発行日 昭和60年12月3日

表紙デザイン印刷・製本 凸版印刷株式会社

